

**2022年度
コンプライアンスアンケート
【チーム管理者】**

2023年5月

日本ラグビーフットボール協会

2022年度コンプライアンスアンケート概要

【期間】 2023年2月26日～3月15日（18日間）

【対象】 2022年度全登録チーム

【回答】 810チーム（回答率30%）

【方法】 Microsoft Forms

カテゴリー	登録数	回答数	回答率
ラグビースクール/ジュニアクラブ/小学校	494	211	43%
中学校	306	57	19%
高校／高等専門学校	918	250	27%
大学	275	63	23%
社会人（リーグワンを除く）	139	75	54%
リーグワン	23	14	61%
一般クラブ/高校OB/大学OB	434	113	26%
女子クラブ	75	24	32%
その他	26	3	12%
合計	2690	810	30%

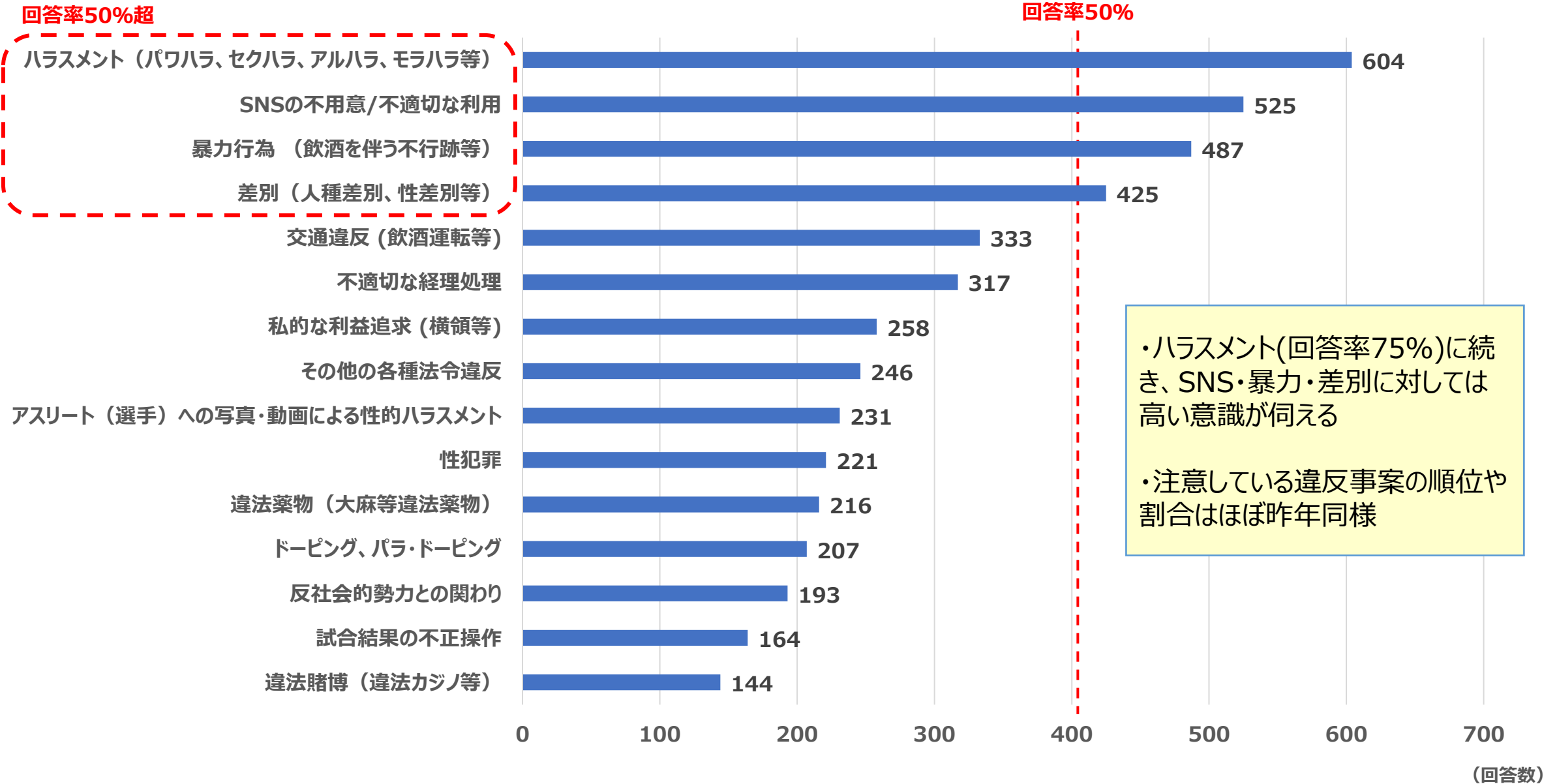
・登録チームの70%が未回答
（回答率は昨年から7%低下）

・昨年比では、高校/高専・大学・社会人・リーグワンで回答率が大幅に低下し、問題意識が薄れつつある可能性

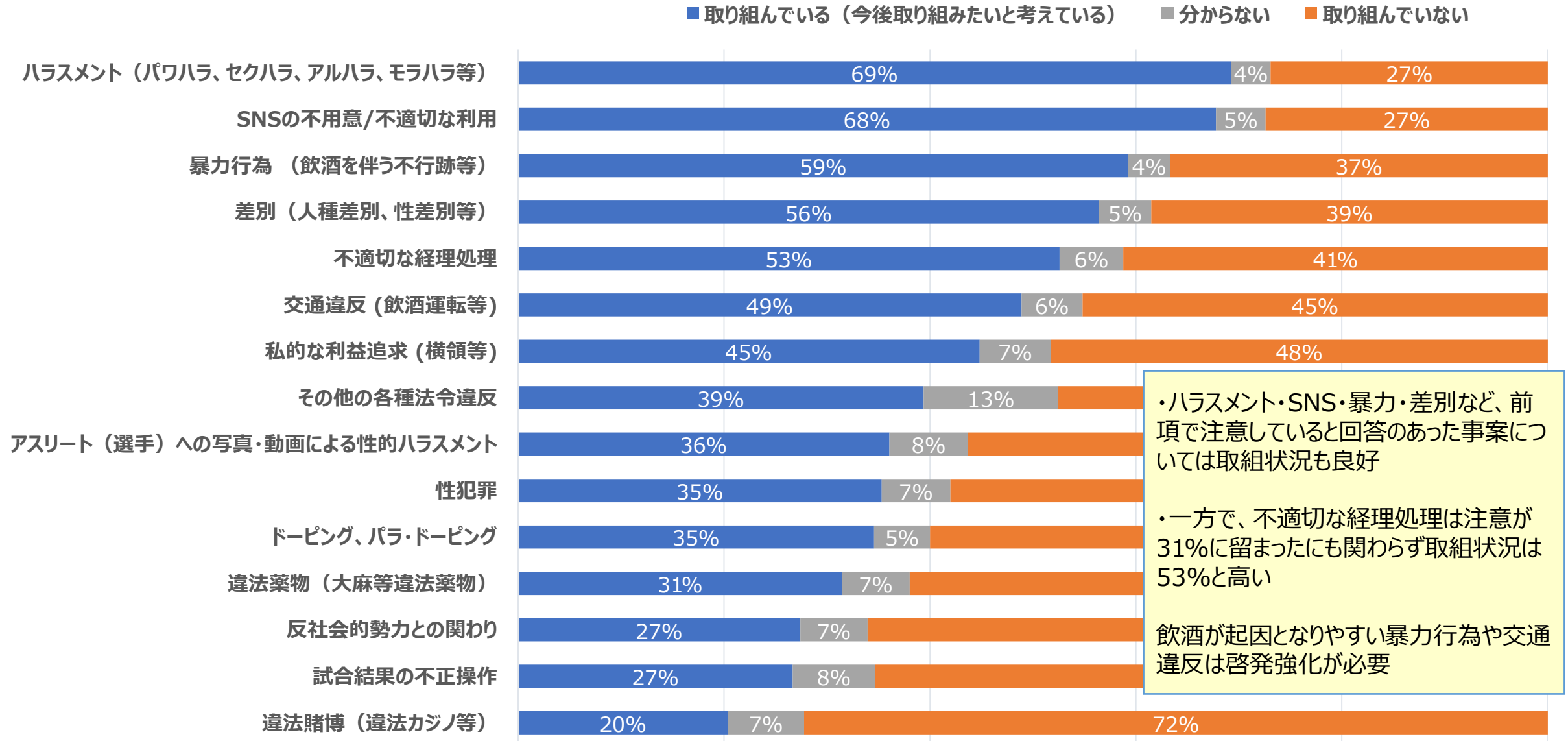
・都道府県協会別の集計では回答率に大きな差があり、意識格差が存在か

・コンプライアンスに対する関心の低い未回答チームにリスク内在の可能性

自チームで注意している(注意が必要だと思う)コンプライアンス違反事案（複数回答可）



自チームにおけるコンプライアンス遵守の取組状況



自チームにおけるコンプライアンス遵守の具体的取り組み①

【多数意見】

- ミーティング(383件)
- 研修・勉強会(138件)
- 総会(14件)
- その他一スクールでは保護者会、学生では学校教育の中での指導、社会人では会社の研修などカテゴリーにより取り組みは様々

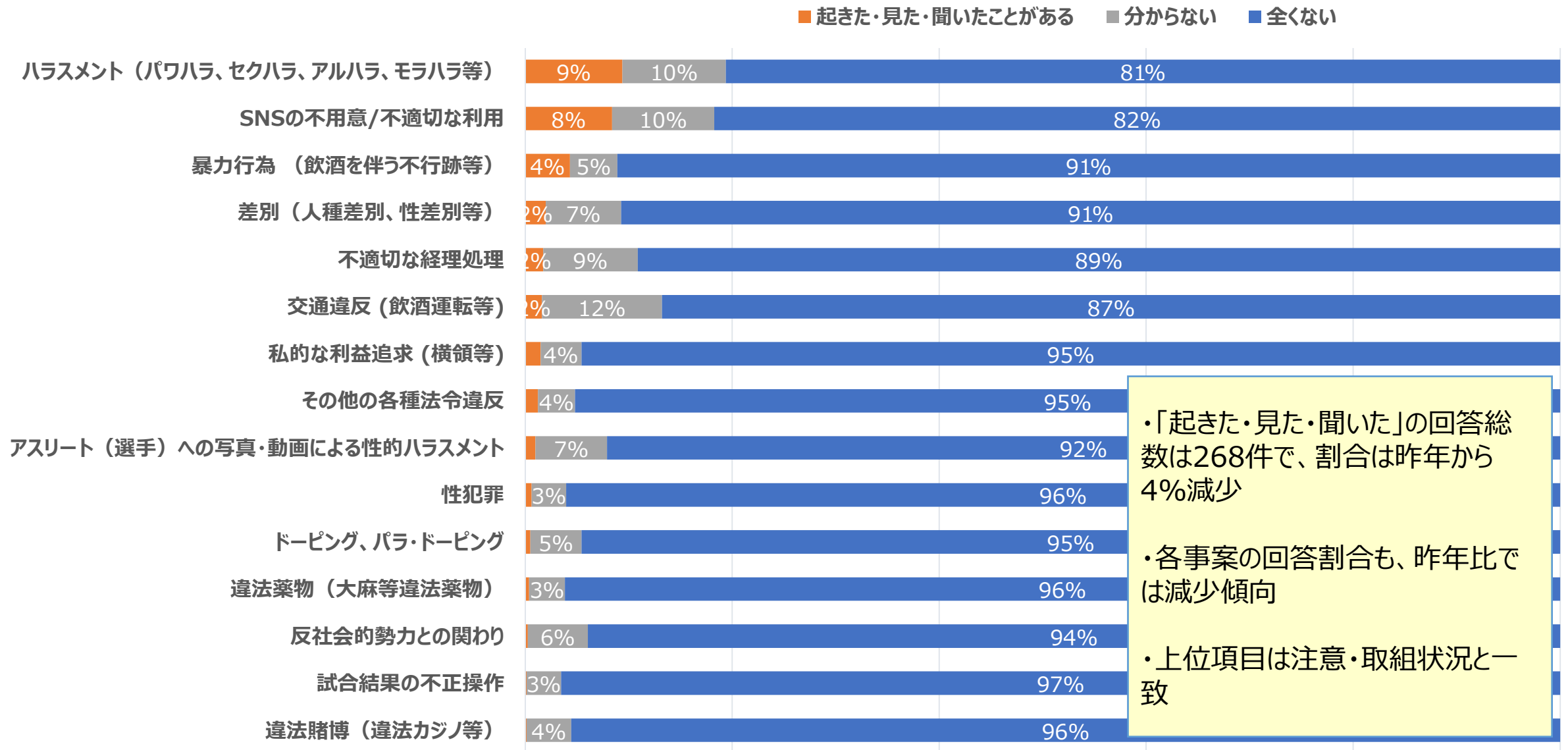
【主なコメント】

- 毎回の練習後にコーチでミーティングを持っています。練習方法や指導方法に行き過ぎがなかったか確認をしています。
- 高校のカテゴリーでは、3~4か月のスパンで大会があるので、大会前に大会へ臨むために、大会後に課題と解決策などミーティングを開き生活も含めてミーティングを行っている。
- 弁護士や警察OB、SNSの専門家などに講師をしていただき研修を実施。
- 年度の協会の安全インテグリティ推進講習会を受講し、チームへの展開が必要と考えられる事項について、メーリングリストで展開。

自チームにおけるコンプライアンス遵守の具体的取り組み②

- SNSについての確認を毎年行っている。学校の生徒指導部の指導とリンクしている。
- SNSについて、弊部ではInstagramアカウントを開設しており、投稿はマネージャーが行っている。ただ、毎回投稿する前には、監督が内容を精査して「弊部部員以外の顔が映っていないか」、「文章で文法的・内容的に不適切な箇所が無いかなどを確認した上で投稿している。
- 会計役と会計監査役を設け、年度終わりに会計監査を実施し、会計報告を全部員に連絡して会計の透明性を図っている。
- 練習場所に車で来る方が多いので、駐車違反とならないように駐車スペースを確保するように努め、場合によっては交通誘導者を付けて誘導している。
- レク行事でアルコールを伴う際に、事前にアルコール有りの旨を伝え、公共交通機関等の利用するよう等周知。
- 試合中に仲間に対しての暴力行為や敵チームへのアンフェアなプレー、リスペクトを持たない行動を厳しく監視して、もしその様な事が発覚したら、しっかり指導をする事を心掛けています。
- 開校式等において、保護者・生徒へ当スクールの方針を説明しています。
- 社会のルールを守ることが、結果的にフィールド内でのパフォーマンスに直結することを常に伝えている。

自チーム内で過去3年以内に起きた・見た・聞いた違反事案

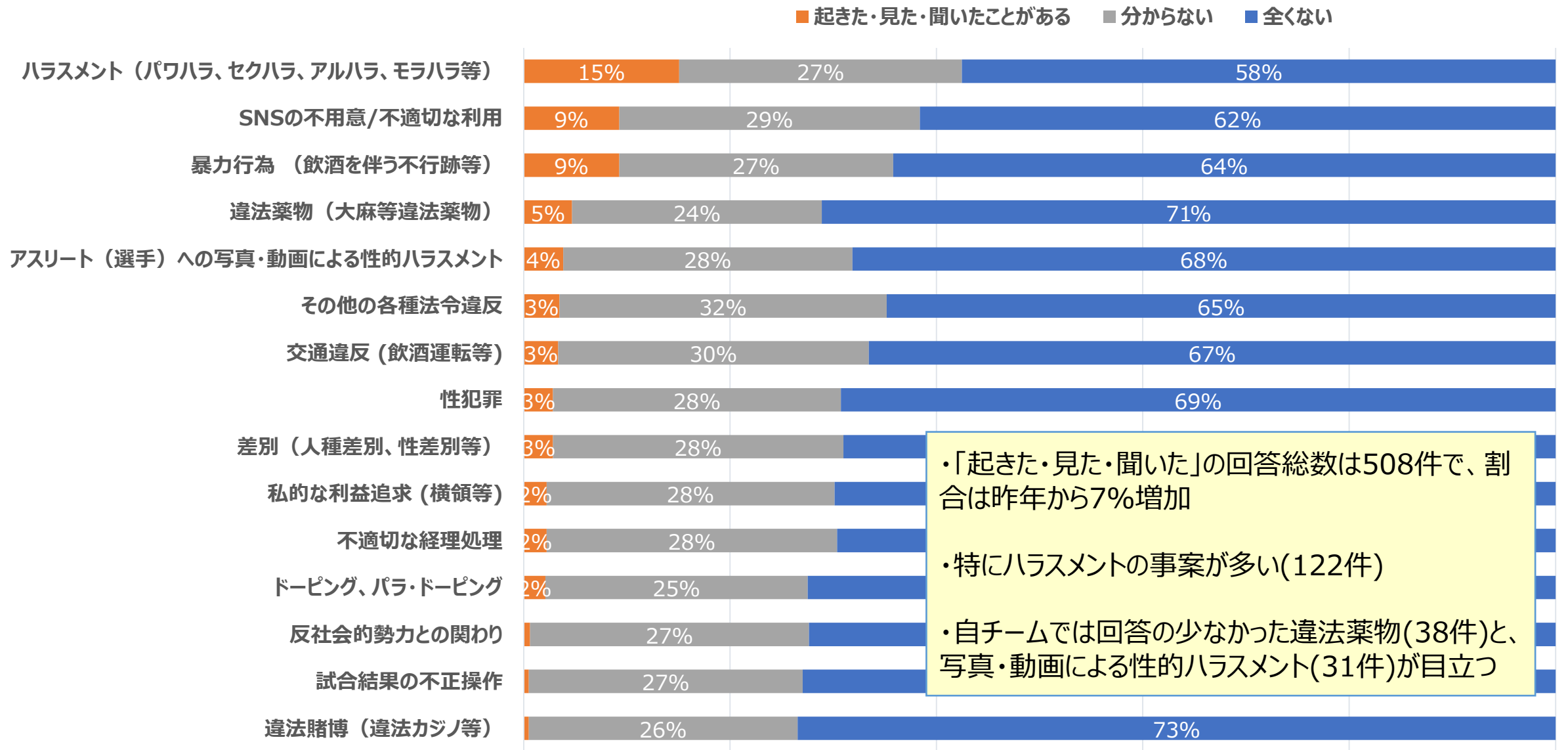


・「起きた・見た・聞いた」の回答総数は268件で、割合は昨年から4%減少

・各事案の回答割合も、昨年比では減少傾向

・上位項目は注意・取組状況と一致

他チーム（同カテゴリー）で過去3年以内に起きた・見た・聞いた違反事案



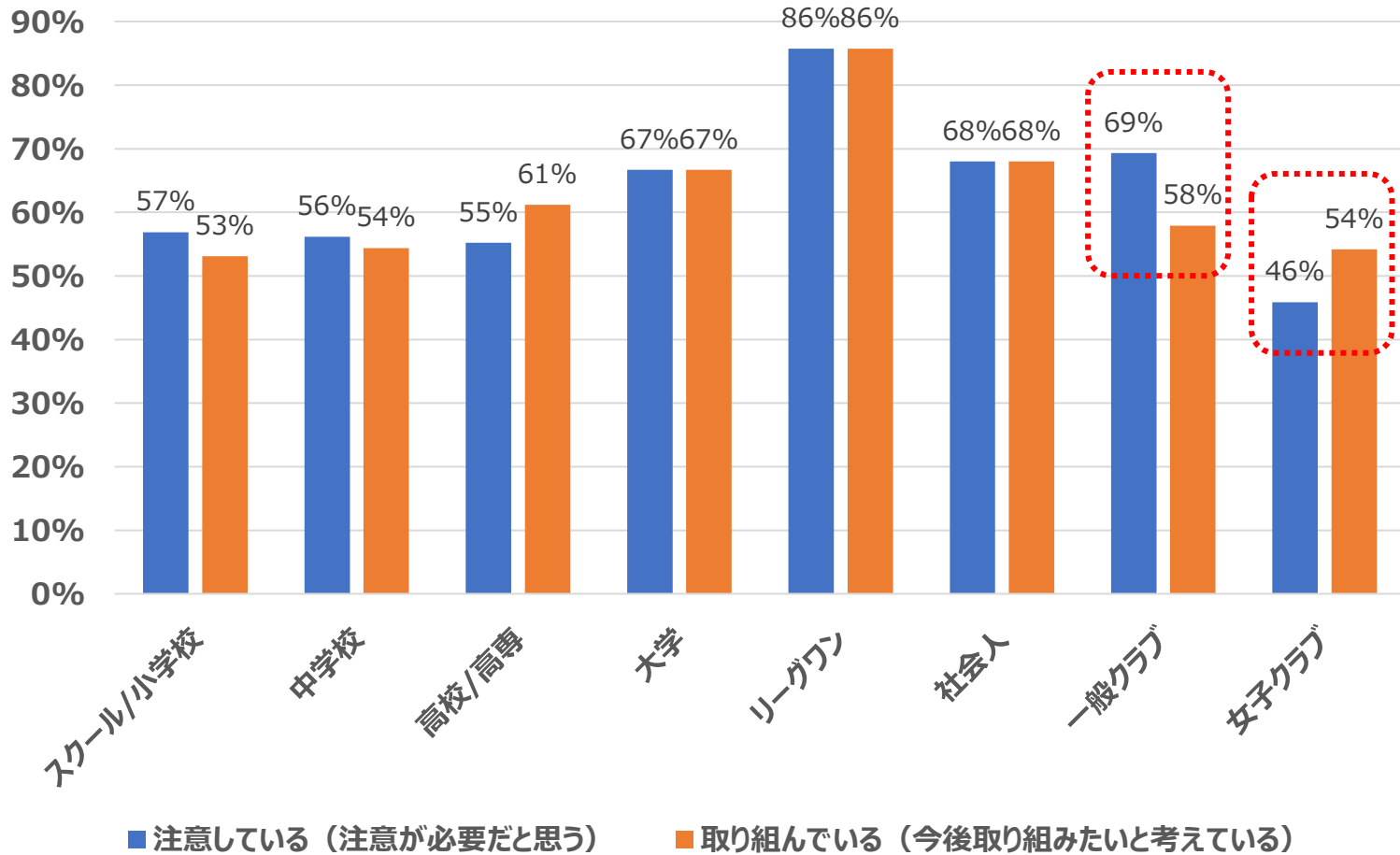
暴力・ハラスメント

日本協会が取り組みを強化している「暴力とハラスメント」について、実際に起きた・見た・聞いた事案内容、発生の原因、根絶するための方法をお聞きしました。

すべてのカテゴリーにおいて容易に発生するリスクがあり、教育・啓発・周知活動を継続的かつ多面的に推進する必要があります。

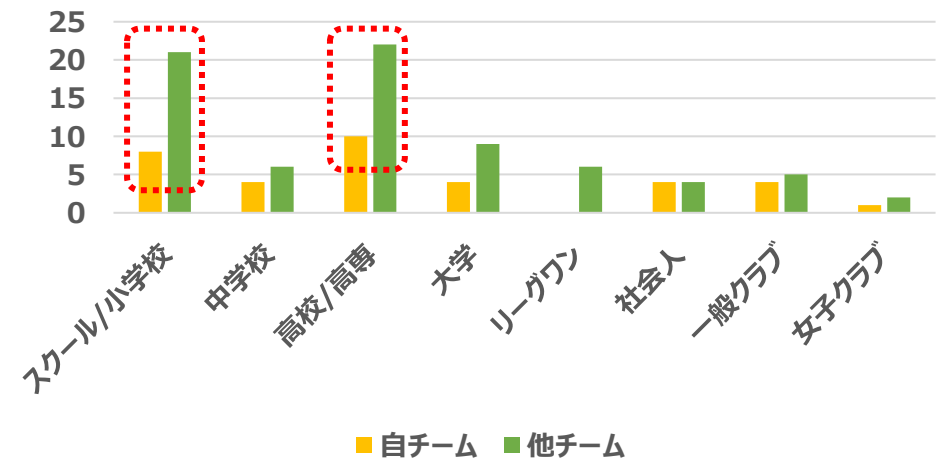
暴力行為（飲酒を伴う不行跡等）

取組状況



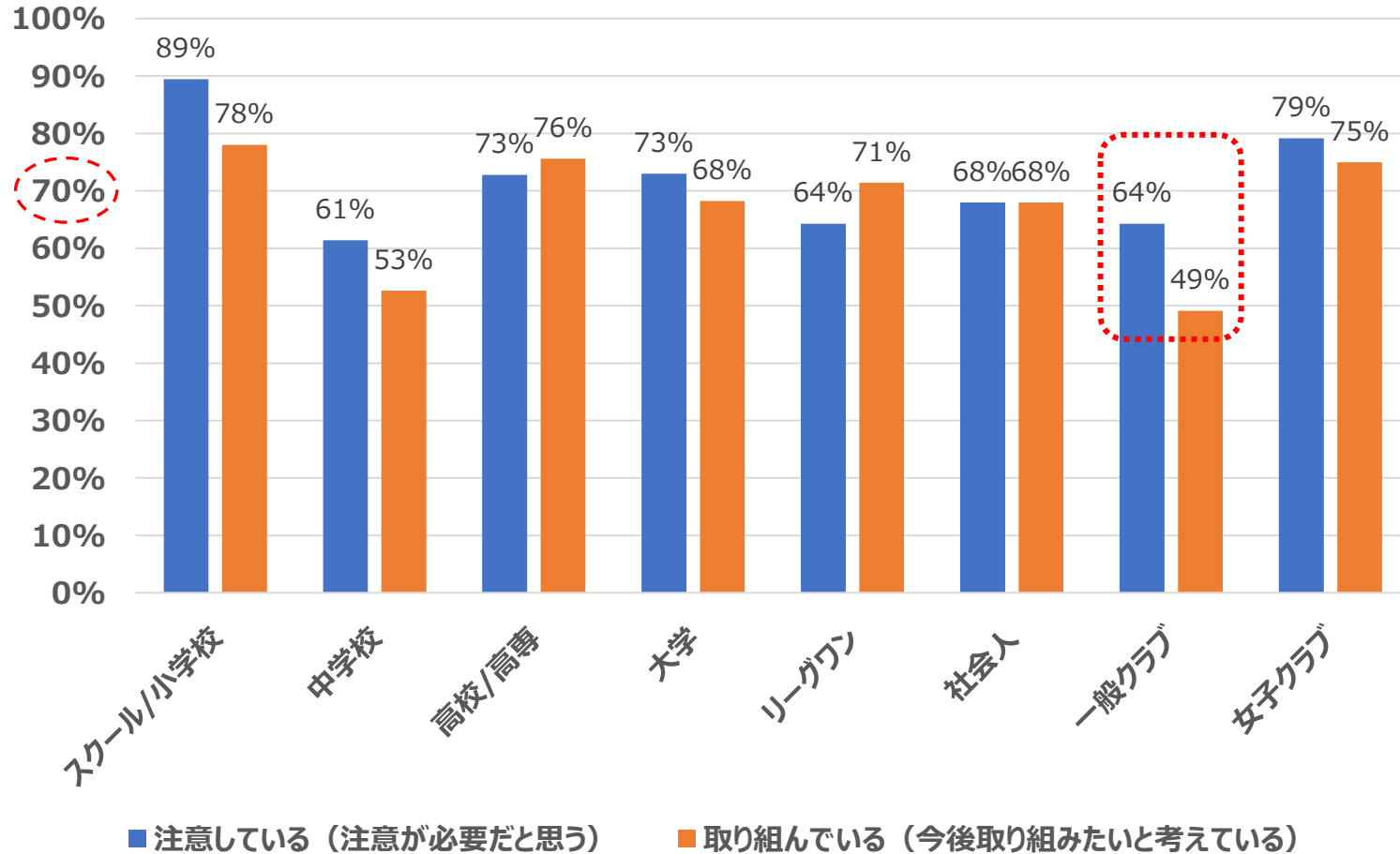
- ・リーグワンは他カテゴリーより取組状況が良い
- ・一般クラブと女子クラブでは注意と取組状況にギャップがある
- ・スクール/小学校・高校/高専は、他チームの「起きた・見た・聞いた」の回答数が自チームを大きく上回っており、当事者意識が欠如している可能性もある

起きた・見た・聞いた(回答数)



ハラスメント（パワハラ、セクハラ等）

取組状況

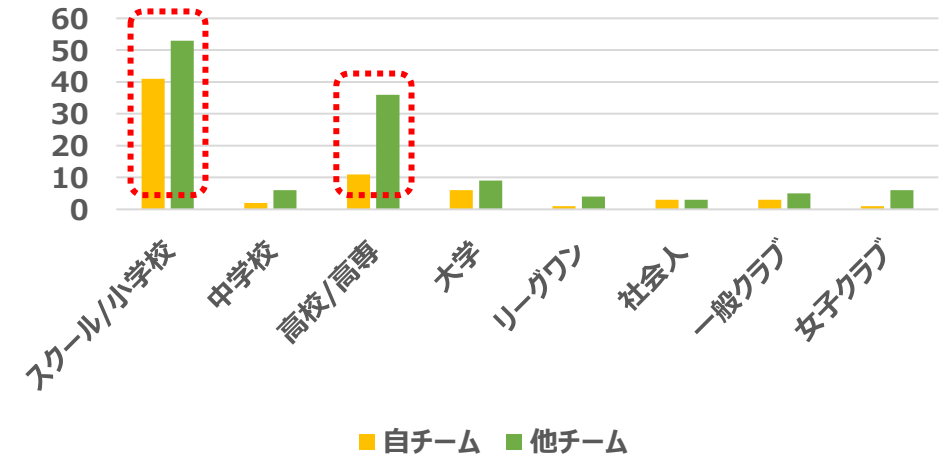


・特にスクール/小学校・女子クラブで取組状況が良い

・中学校・一般クラブでは取り組みが甘く、注意の割合との差も見られる

・「起きた・見た・聞いた」の回答数は、スクール/小学校と高校/高専で顕著

起きた・見た・聞いた(回答数)



暴力・ハラスメントについて、実際に起きた・見た・聞いた①

【まとめ】

- コーチの暴言(多数)・暴力
- 喧嘩(多数)
- いじめ
- 差別的発言
- コーチによる過度の指導(多数)
- 試合中のラフプレー(多数)
- アルコールハラスメント
- SNSでの誹謗中傷

【主なコメント】

- 指示通りにプレーできなかった選手の頭を叩くコーチを見かけました。
- スクール生への指導の際に暴力があった。
- 部員同士のけんかにより暴力事件に発展した。

暴力・ハラスメントについて、実際に起きた・見た・聞いた②

- チーム内の選手が飲食店で他の客と言い争いになり、エスカレートして**暴力事件**になった。
- 複数名の前で**名指し**で強く叱責する。
- **ケガ**をしたとみられる生徒に対し、その状況を確認せず、何の根拠もない状態で「大丈夫」と言って練習に参加させようとした。
- 練習中や試合中に指導者が選手の**人格を傷つける**ような言葉を用いて、罵っていた。
- 生徒の見た目や動作の特徴をあだ名にして、練習中にミスをする度に**あだ名**で叱責されていた。
- 試合のメンバー選択で疑問があったためコーチに質問したら、それ以降の**試合に出してもらえず**中学最後の卒業試合も出れなかった生徒がいた。
- 1人のコーチが全体へのメール一斉送信機能を使って他のコーチへの**一方的な批判**を行った。批判を受けたコーチはチームを辞めてしまった。
- **女性コーチに対して**『ご負担が大きすぎるでしょうから』と**活動機会を制限**する発言。思いやり発言のようであるが、受け取り側は『女性だから能力的に無理です』と烙印を押されたと思ってしまった
- 外部コーチ(年配の方)が女性顧問や女子部員にきつい口調で**性差別**に近い発言をした。
- **飲み会**時に酔っばらって年上が若手の肩をパンチする行為があったと聞いた。

暴力・ハラスメントは何が原因？①

【まとめ】

- 勝利至上主義(多数)
- 指導者の認識不足・勉強不足・経験不足(多数)
- コミュニケーション不足(多数)
- 自己中心的な考え
- リスペクトの欠如
- 人間関係
- ストレス
- アンガーマネジメントができていないこと
- 環境
- 飲酒

【主なコメント】

- まずは、チーム内の人間関係が大きな要因となると考えます。

暴力・ハラスメントは何が原因？②

- プレー経験はあるもの**指導経験の無いスタッフ**がコーチになり個々の判断や価値観が反映される場面が多くまた、**アンガーマネジメント**が出来ず高圧的な口調になったり状況把握や判断に緩みが生じてしまう。責任者であっても意思疎通の不備からコーチスタッフに対してハラスメント事案があった。低学年や中学年では子供達個々の性格的な事もあり諍いが度々生じてしまう。
- 指導者の**優越的な地位を利用して**の部員に対するパワーハラスメントにおいては、指導者が伝えたい技術やあるべき姿勢・立ち振る舞いを的確な言葉で言語化できず、「伝わっていないのでは？」とフラストレーションを感じたときに発生しやすいのではないかと思います。改善してほしい部員のプレーや姿勢・立ち振る舞いが改善されていない、と感じたときに、「さらに分かりやすい表現で伝える」ことを諦め、「態度＝暴力や威圧的な言動を用いて「わからせる」という行為に及ぶのではないかと感じます。
- コーチと生徒との間に存在する**世代間ギャップ**や、コミュニケーションにおける、新しい常識、感覚、解釈、などを学ばないこと。また、自分の価値観が絶対だというように他の考えを取り入れようとしない姿勢。
- **加害者の考え方や意識の無さ**が発生原因の一つだと考えます。また、加害者が暴力やハラスメントと気付いていないということもあると思われます。
- 行為後に起こる罰則や社会的制裁に対する**想像力の欠如**。

暴力・ハラスメントは何が原因？③

- 暴力などに対して厳しい世の中になっていることの認知、**理解不足**。また気のゆるみ等、**自制心の不足**によるもの。
- スポーツ界の暴力やハラスメントは**昔からの体育会系**の考え方の影響が大きいと思う。
- 若い選手の精神的な未熟さ。チームメンバーの多国籍化が進む中、**海外**の様々な文化や交流などを経験できる反面、飲酒等の自国の年齢制限があるにも関わらず、法律違反をしてしまうような現実。
- 選手の中にある「このくらいはいいでしょ」という潜在意識や**仲間とのノリ**が膨張し起きているように感じます。事前にそうしたことをしない、させないように日々注意喚起していくこと、セミナー等で教えていくことが事前防止につながると思います。
- 個人の資質や価値観に起因するのが主因と考えますが、周り（チームメンバー、友人、地位等）が暴力やハラスメントを容認するような**環境**も原因の一つとなると考えます。
- **過度な上下関係**(学年・年齢にかかわらず、集団内でのパワーバランスが主な原因と考察)
- **プレーヤーファースト**の意識不足
- チームの目指すものが、参加者の楽しみや選手の成長ではなく、**勝利至上主義**などになり、強迫観念に囚われること。
- 勝利主義による**過度な指導**

ラグビー界から暴力・ハラスメントを根絶するには？①

【まとめ】

- 研修・教育(多数)
- 指導者の意識改革(多数)
- コミュニケーション
- 勝利至上主義からの脱却
- ラグビー憲章の浸透(多数)
- 第三者機関によるチェック
- 厳罰化・処罰の明確化

【主なコメント】

- スポーツマンシップの確認、部長・コーチとの適度なコミュニケーション
- 相手チーム、レフリーなどに対するリスペクトの気持ちをトップチームからスクールまで、反復した教養を徹底してラグビー界に根付かせる。

ラグビー界から暴力・ハラスメントを根絶するには？②

- 勝利第一主義の考え方を変えながら、**ラグビーを楽しんだり**、普及したりする活動を増やしていく。
- 小・中・高の現在のチャンピオンシップの在り方を検討する。とにかく**大会が多すぎる**。また、高校の年代までは全国大会を廃して普及に重きを置くべきではないか。
- 暴力やハラスメントを許さない、**見て見ぬふりをしない環境作り**と関係する人々（家族、チームメイト、指導者、スタッフ等）に対する責任と相互信頼を意識する教育の徹底。ラグビー選手は特別な人間ではなく、**社会の一員**であることを自覚させる。
- **研修**などを繰り返し行い、暴力は絶対にダメだということを認識する。
- チームに**インテグリティ推進講習受講者必須**のようにコンプライアンスに特化した講習必須とする。
- 指導にあたる者がしっかりと**研修**を受けること。また、複数名で指導に携わることで、お互いの言動をリアルタイムでチェックすること。人なのでコーチも間違いを起こすこともあるが、そのような状況になった時に、その場で対応できる環境を整備すること。
- 指導的立場の人がしっかりと研修を受け、**自己研鑽**を行い、正しく行動すること。
- ラグビーに携わる人**全員が勉強**して、より高いレベルの行動をとれるようにする。

ラグビー界から暴力・ハラスメントを根絶するには？③

- 高校や大学の運動部が主体の運営から、自治一気のクラブチーム化を進めて、学校関係者以外の**第三者の目**をチーム運営に取り入れ透明性を確保することが重要だと思います。
- **外部機関と連携**して、定期的にチェックや面談などを通してチーム状況（選手やスタッフ）を確認する。
- 教育を行うのもあるが、個々が持つハラスメントに対する個人差もある。**懲罰委員会**等を入れて不適切な指導者に対しては処分を行いそのことを各団体に展開し通達を行なっては？
- **ラグビー界全体**で取り組む姿勢
- **協会**をあげて注意喚起や未然防止対策を講じていく。
- ラグビーの価値を高めていくような取り組みを行うべき。選手にとってラグビーをしていることを誇りに思えるような活動。ラグビー憲章を浸透させる。
- ラグビー界という限定されたエリアでの根絶よりも**社会全体の課題**として取り組むべきものと考えます。

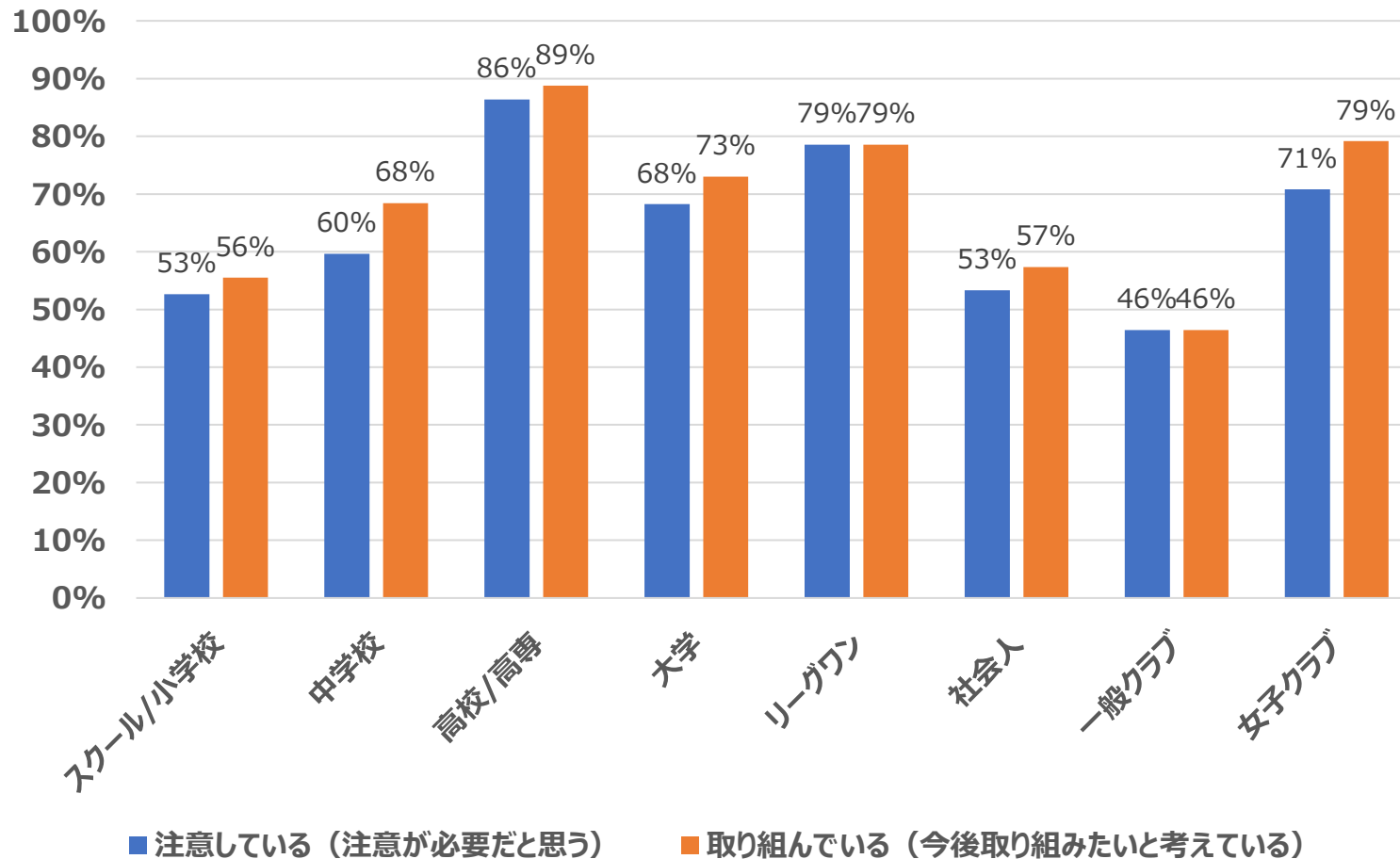
SNS・違法薬物など

SNSは、若年層の 카테고리において、ちょっとした不注意が原因となりトラブルに発展するケースが多発しているようです。

薬物問題の撲滅は喫緊の課題です。特に、リーグワン及び大学における取り組みを強化し再発防止の徹底が急務です。

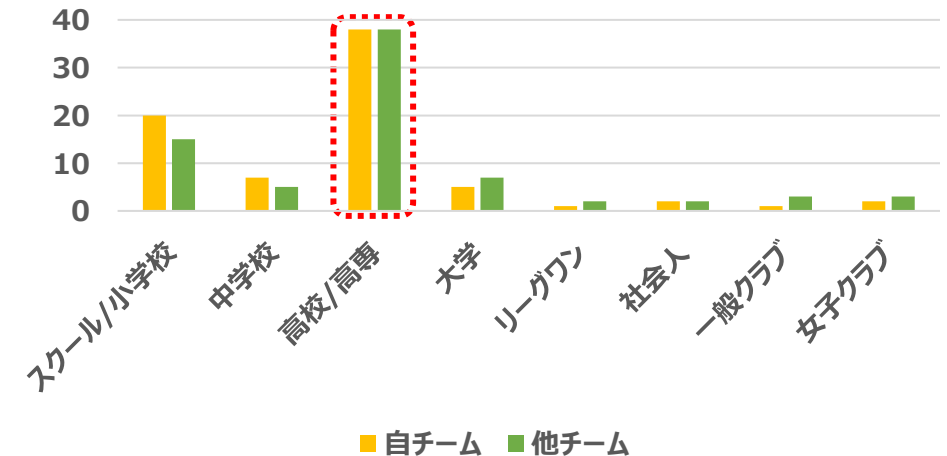
SNSの不用意/不適切な利用

取組状況



- ・学生カテゴリーでは学年が上がるごとに取組率が上がり、高校/高専では9割近くに上る
- ・リーグワン・女子クラブはSNS利用率が高いことから取り組みも強化されているのだろう
- ・「起きた・見た・聞いた」でも高校/高専が突出しているが、学校や家庭での教育も欠かせない

起きた・見た・聞いた(回答数)

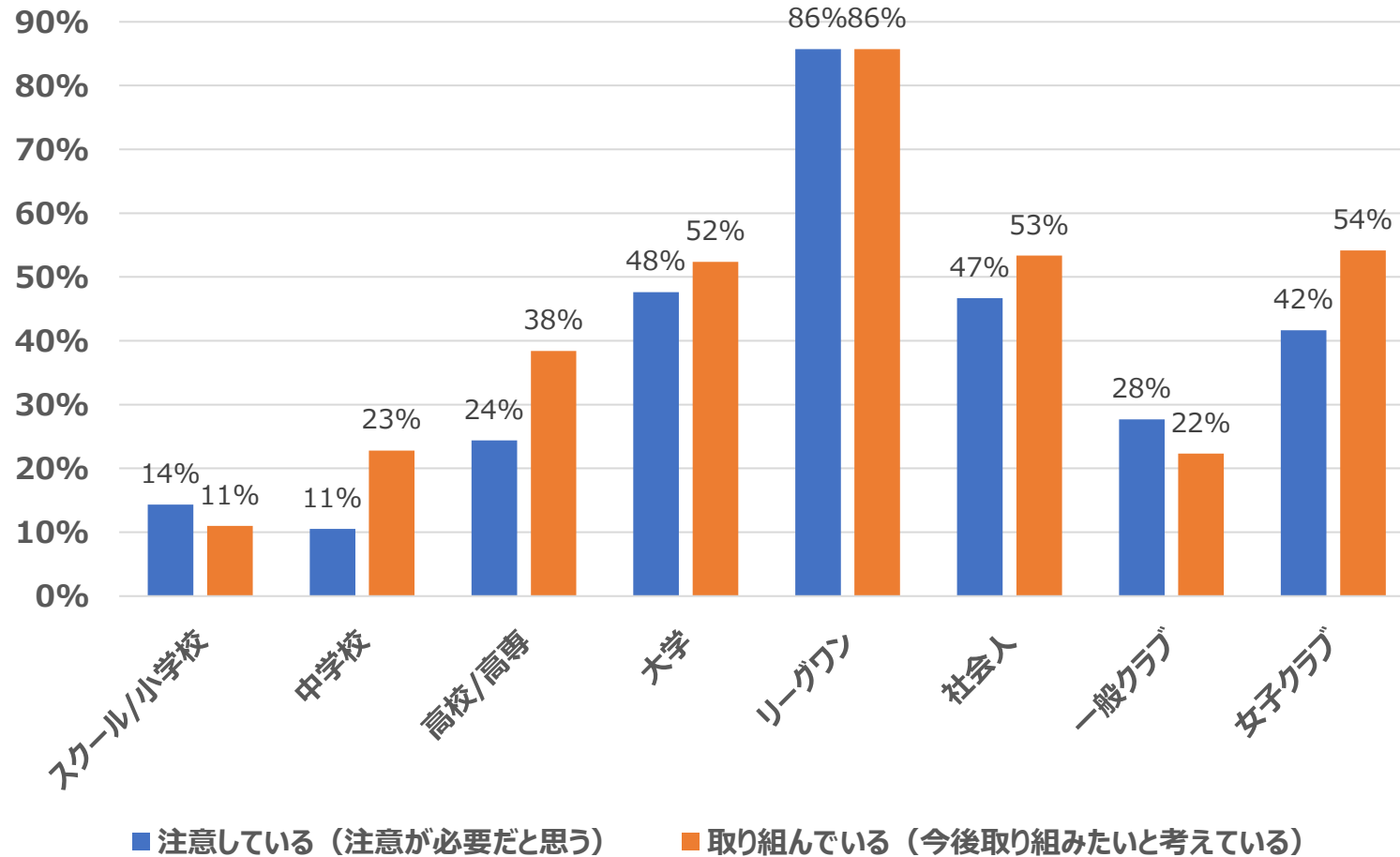


SNSについて、実際に起きた・見た・聞いた

- 写真のSNSの掲載を取り下げて欲しいと選手から要望があった。（自チームのSNSではなく、一般の方がアップロードした写真）
- SNSにて指導者・OBに対しての批判をおこした指導者を強制退会
- SNSのハラスメント投稿について
- SNS上でのいじり
- 高校生は、SNSでのトラブルが非常に多い。生徒同士の誹謗中傷や画像のUP、女子生徒が絡んだ誹謗中傷。以前は、なりすましで本校生徒が他校生徒を誹謗中傷したと他校より訴えの問い合わせもあり、調査、解決するのに苦労したこともある。
- 昨年スクールを立ち上げた際に既存にいたスクールのHPとFBに実名と団体名を一方的に出されとても傷つけられました。
- 県内高校ラグビー部のいじめ動画拡散。

違法薬物（大麻等違法薬物）

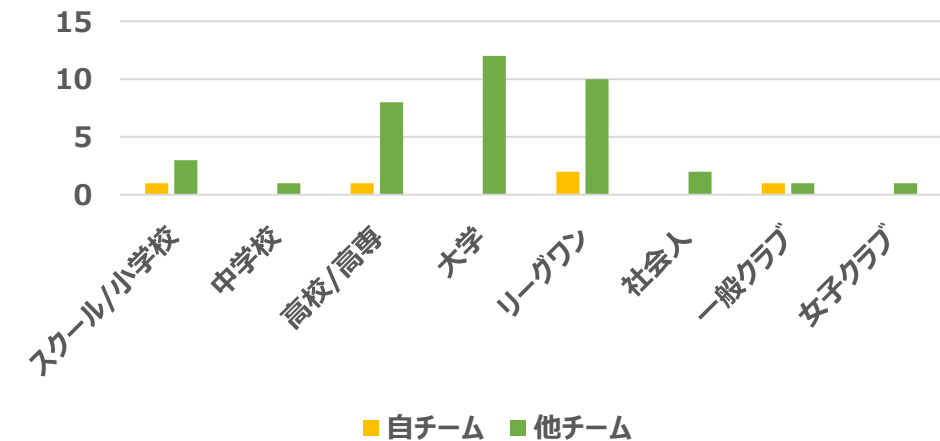
取組状況



・「起きた・見た・聞いた」では、高校/高専・大学・リーグワンが突出しており、自由記述でも薬物事件に関するコメントが多数あった

・一方で、リーグワン以外では認知度が取り組みに反映されておらず、今後の実践が求められる

起きた・見た・聞いた(回答数)



その他の違反事案

レフリーに関する問題、保護者とのトラブルや飲酒を伴う違反やトラブルが目立ちます。

その他の違反事案について、実際に起きた・見た・聞いた①

【まとめ】

- レフリーに対する野次・クレーム・買収(多数)
- 保護者とのトラブル(多数)
- 飲酒トラブル
- 窃盗・金銭トラブル
- 近隣トラブル
- 女子の盗撮
- 体罰

【主なコメント】

- タグラグビーの試合後に、学校単位で参加をされたチームの管理者（教員）が、レフリーの判断に意見を申し立てることが多いです。
- 観戦者(保護者)が試合やレフリングに対する批判がたまにある。

その他の違反事案について、実際に起きた・見た・聞いた②

- **レフリング**に対するコーチからのアピールが酷いチームがある。ミニのレフリーは全てしっかり観れる方は少ないのである意味お互い様のところがありますが、相手チームのミスや反則ばかりを大声で指摘する方がいるので生徒も同調しているのを観るとどうかと思います。
- レフリーの**買収**（圧力含む）。レフリーによるゲームメイク。
- 選手起用について、**保護者やOBからのクレーム**や要望、ひどい状況では**脅し**のようなものまである。
- 県内他チームへの移籍。他チームの保護者が直接接触して**選手の引き抜き行為**を行っていた。
- グラウンド上での子ども同士の諍い・やり取りを見ていなかった自宅待機の保護者が、帰宅した我が子の訴えだけを聞いて、相手の子ども・コーチに対して不服申し立てがあった。状況説明のあと安定。
- **飲酒**による、モラルの欠如。アカハラの手前のような事例です。
- あるスクールで遠征の時にその日到着して練習が無いので、遠征のバスの中で**コーチ陣が飲酒**していたと聞いた。（未成年者の同乗してる中での飲酒はいかがなものかと？）
- 長時間の練習が課され、**学習時間**が十分に確保されなかった。

その他の違反事案について、実際に起きた・見た・聞いた③

- 騒音トラブル等、暮らしの中で近隣のかたとのトラブル等
- グラウンドでの更衣において、一般客からの苦情
- 試合会場の駐車場問題。近隣の商業施設、コンビニの駐車場に無断で停めて警察沙汰に成ったりしたと主催者側から連絡があった。
- 練習場付近の地元住民からのクレーム。（練習開始、終了時間帯における車両集中による路地の渋滞）
- 男子部員による女子部員の盗撮
- 女子マネージャーの行為を盗撮した。
- コロナ禍で練習自粛を要請されている状況での集団練習があった。
- 子供たちへの暴言や暴力を行ったコーチが、違う団体にコーチをしている。しっかり改善するプログラムを受けたかどうか定かでない。また、そういった改善のプログラムや復帰のプロセスを明確にする必要があると感じます。

ヒヤリ・ハット事例

様々なヒヤリ・ハット事例（コンプライアンス違反に直結してもおかしくない一歩手前の事例）が報告されています。行き過ぎた指導、ラフプレー、飲酒を伴うトラブル、SNS絡みの問題が目立ちます。

暴力・ハラスメントに関するヒヤリハット事例①

【まとめ】

- 試合中のラフプレー・暴力
- コーチの指導方法が不適切(多数)
- コーチのハラスメント
- ケガの軽視
- 保護者とのトラブル
- 保護者が自分の子供に必要以上に怒る
- 勝利至上主義
- 相手を傷つけるような発言・喧嘩
- 人種差別・いじめ
- 飲酒によるトラブル(多数)
- SNS関連(多数)
- ドーピング未遂
- 男女関係のトラブル

暴力・ハラスメントに関するヒヤリハット事例②

【コメント例】

- **親子での行き過ぎた指導**（当人はそんなつもりはないが、他人から見ると親目線の指導ではあったので注意した。）
- コーチが熱くなりすぎて表現が不適切になったり、**怒声**のよう聞こえたりする。
- メンバー間でスキルやテクニクについての**批判**表現などが受け手が傷つくような場合がある。
- ゲーム中に感情が高ぶり、**ラフプレー**になる時が散見される。
- 選手による**SNS**上（誰もがみれる環境）での、相手チームのラフプレーに対するクレーム。
- 選手に**ケガ**など発生した際の、**保護者との連絡に不備**があったことを聞いたことがあります。
- コーチ同士の懇親会において、**アルコール**が入り、暴力につながるような事案が発生した。
- あるコーチが特定の女子に対して物品を購入するなどの事案が発生した。
- 病院で処方された薬が**ドーピング**に当たるものだった場合。飲む前にトレーナーが気づいたため違反まではいきませんでした。
- 合宿所の自動販売機で**ドーピング認証**されていない飲料が売られていたので、認証済みのものに取り替えた。

風通しのよい組織作り

風通しのよいチーム（組織）は問題が起こりにくいと言われます。風通しのよいチーム（組織） 作りのために、どのように取り組んでいるかお聞きしました。

風通しの良い組織を作るには？①

【まとめ】

- 定期的なミーティング・面談・アンケート(多数)
- コミュニケーション(多数)
- 食事会・レク
- 上下関係を意識しない
- 情報共有(多数)
- LINEなどコミュニケーションツールの使用

【主なコメント】

- コーチ間・保護者間・運営とコーチ・運営と保護者など、とにかくコミュニケーションの機会を増やす。
- チームを小集団にわけ、コミュニケーションをとりやすい体制を設け、各小チームでのMTGや役割を設けている。

風通しの良い組織を作るには？②

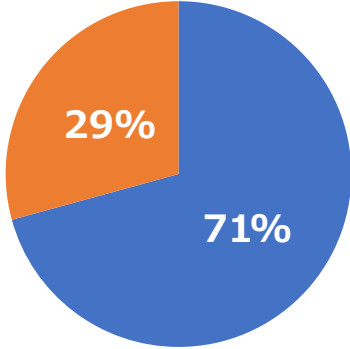
- 部活内で縦割りの班を作成し、1年生から4年生まで分け隔てなく会話ができる環境を作る。
- 上下の垣根を無くし、誰に対しても自由に意見が言えるように働きかけている。
- スクール生を褒めて成長をコーチが楽しむ。
- 練習メニューや練習計画などを決める際に、生徒の意見等を重視し決定している。
- チームビルディングとしてラグビー以外のレクリエーションに取り組んでいます。
- 所属コーチには、コーチ資格やレフリース資格取得を奨励しており、コンプライアンス遵守を含むコーチングやレフリングの知識やスキルの向上に努めています。
- 部長，監督，コーチ，保護者会，OB会の役割，分業を明確にする。
- スクール（チーム）に法律顧問（弁護士）を置いている。
- 規約に「公益通報の受付及び処理」について規定し、コーチ、保護者又はスクール関係者以外の者からの組織的又は個人的な法令違反行為等に関する相談又は通報を受け付けている。
- ホームページやSNSを活用した情報提供、情報交換を行っている。
- LINEで連絡を取れるようにして情報を皆と共有している。

日本協会の取組み

日本協会のインテグリティ相談窓口（2018年開設）とホームページの認知度を調査しました。

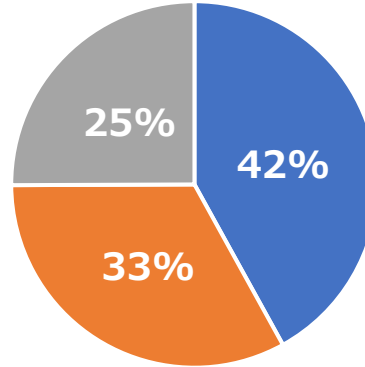
日本協会の取り組み

日本ラグビーフットボール協会
インテグリティ相談窓口



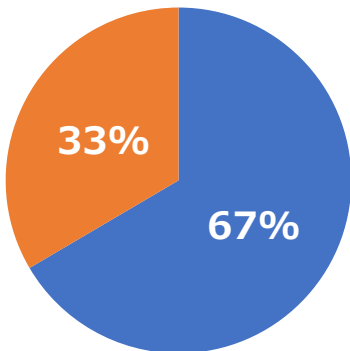
■ 知っている ■ 知らない

日本ラグビーフットボール協会
インテグリティ追求HP



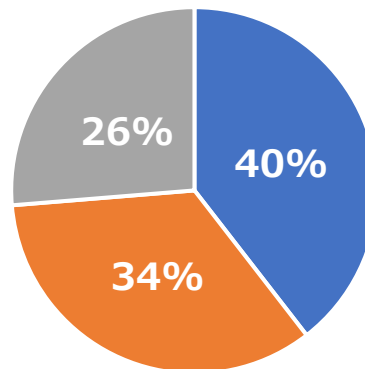
■ 閲覧したことがある
■ 知っているが、まだ閲覧したことがない
■ 知らない

日本ラグビーフットボール協会
「セーフガーディング」



■ 知っている ■ 知らない

(公財)日本スポーツ協会
ハラスメント防止動画



■ 閲覧したことがある
■ 知っているが、まだ閲覧したことがない
■ 知らない

・相談窓口の認知度は、昨年度に比べ「知っている」の割合が改善（61%→71%）

・インテグリティ追求HPについては、依然として閲覧割合が低い（38%→42%）

・昨年12月から取り組みが始まった「セーフガーディング」の認知度は低い

・今後も、あらゆる機会・チャネルを通じて、相談窓口とホームページの周知を図る